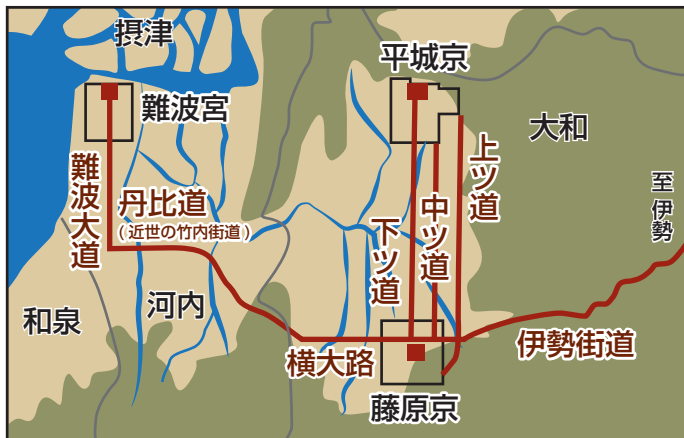


奈良盆地を東西に貫く日本最古の官道～横大路～

古代の国道1号?!

東端は、桜井駅近くの寺川にかかる小西橋で、ほぼ真西に進み、葛城市の長尾神社の北で丹比道（たじひみち）に続きます。「日本書紀」の推古天皇21年（613年）の条に、「難波（なにわ）より京（みやこ）に至るまでに大道を置く」と記された「大道」のルートと重なることから、日本最古の官道と呼ばれています。

（注：「丹比道」とは横大路の西に続く近世の竹内街道）



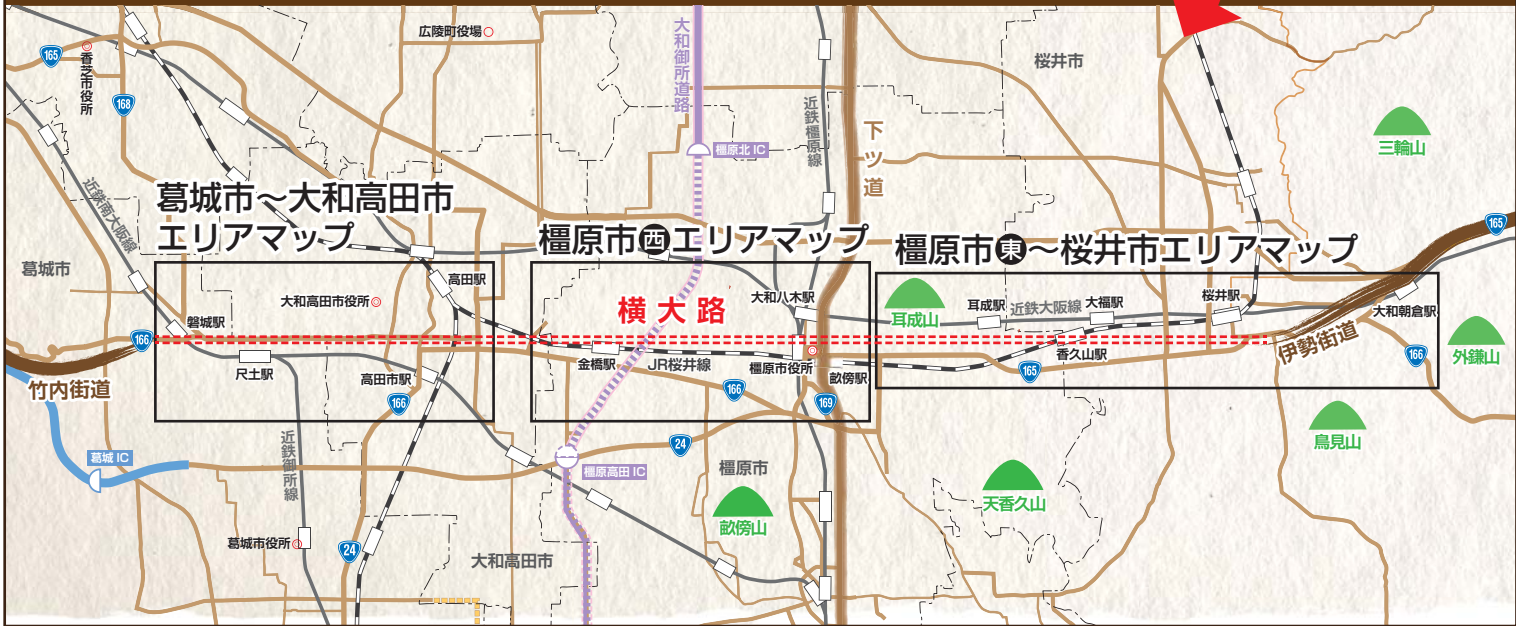
シルクロードの東の終端?!

西のローマから東の西安を結ぶシルクロード。西安からさらに東に海を越え、最後は飛鳥や後の藤原京までも続くこの道を通じて、中国大陆や朝鮮半島の文化がもたらされました。横大路はシルクロードの東の終端といっても過言ではありません。

東西の要所に神を祀り、悪事の進入を防ぐ

日本書紀によれば崇神天皇9年（紀元前89年）春3月、国中に疫病が蔓延したため、天皇はいたく悩まれていました。ある夜、夢に神が現れて「赤盾八枚、赤矛八竿をもって、墨坂の神を祀り、黒盾八枚、黒矛八竿をもって大坂（二上山の北の峠）の神を祀れ」と告げたので、天皇はその教えに従って祀られたところ、たちどころに疫病は平癒し天下安泰になったと記されています。両地を結ぶ横大路が初期大和朝廷にとって重要であったことを示しています。

横大路全体マップ



古代日本における最大の内乱の舞台?!

血で血を洗う皇位継承の争いである壬申の乱が、主として近江と大和において展開されました。大海人皇子率いる反乱軍と、大友皇子を中心とする政府軍の戦いが大和盆地で繰り広げられ、日本書紀の天武天皇元年7月1日（672年7月30日）の条に「会明に、西の方を臨み見れば、大津・丹比、両の道より、戦の衆多に至る」とあり、横大路も壬申の乱の際に使われていたことがうかがえます。



伊勢への信仰の道

江戸時代になると、伊勢参りが盛んとなり、伊勢神宮に参拝する道として横大路が利用されました。参拝する道中には、道しるべとして「おかげ灯籠」が建てられ、幕末にはおかげ参りが大ブームとなり、街道沿いでは、食事や湯茶の接待などが行われました。



◆当時のおかげ参りの様子を描いた木版画

広域マップ



日本文化のクロスロード 八木「札の辻」



平城京の朱雀大路から高取を越えて吉野・熊野へ続く「下ツ道」は、「上ツ道」・「中ツ道」とともに、大和盆地の中央を南北に貫く三本の古道の一つです。この「下ツ道」と「横大路」の交差点を中心に、八木の町が発展してきました。近世になると、法令を板面に記して民衆に周知させるため往來の多い場所に設置される高札（こうさつ）が架かる場所となり、「札の辻」と呼ばれました。現在も、江戸時代の歴史的な町並みが生き続け、旅籠や灯籠・井戸などの面影を残す歴史資源が点在しています。

● 八木札の辻交流館 ●

市指定文化財「東の平田家（旧旅籠）」は、平成24年7月14日より、八木札の辻交流館として開館しました。
建物の見学は無料です。また、2階を貸室としてご利用いただけます。八木のまちを散策する拠点として、ぜひご利用ください。

【営業時間】 9:00～17:00（入館は16:30まで）【入館料】 無料
【休館日】 月曜日休館 ※月曜が国民の休日にあたる場合は翌日
※1月1日～1月5日 12月25日～12月31日は休館



お問い合わせは

◆風景街道「横大路・下ツ道」連絡協議会◆

NPO 法人八木まちづくりネットワーク

〒634-0005 奈良県橿原市北八木町2丁目1番5号

「NPO 法人八木まちづくりネットワーク」の活動についてくわしくは、ホームページをごらんください。

<http://www.yagi-net.jp/>

お問い合わせは、下記のメールアドレスへどうぞ。

info@yagi-net.jp

◆奈良県土木部道路建設課広域計画係◆

TEL 0742-27-7495



日本風景街道「日本文化のクロスロード」（横大路・下ツ道）

街道ウォーキングマップ



横大路



日本風景街道「横大路・下ツ道」連絡協議会



みどころ

①長尾神社

長尾は大蛇の尾に由来する。北東隅の道標は竹内峠を越してきた人に横大路への道を教えるものと推定できる。
神社周辺は、風情のあるまちなみが広がっており、集落内には「いせ、はせ、よしの、つぼ坂、かうや」を指す4つの道標がある。



②静御前の塚

静御前は生母「磯野禅尼」の故郷である大和高田で母を頼り余生を送ったといわれ、塚が古地図に描かれている。



③旭町太神宮の高灯籠

東から大和高田への入口にあり、旅の道しるべとして、夕暮れ時、旅人が、この明かりを見て、安堵したと思われる。



④長谷本寺

8世紀初頭（養老年間）の創建。南面する現本堂は近時の再建で、その左側に鎮守社、右前方に三十三か所の観音堂がある。



⑤辻甚 (ヴェルデ辻甚)

浪花講の定宿帳では「つじや甚三郎」とある。創業400年を越える老舗、現代風にアレンジされ、ウェディングとフレンチレストランの店に。

【営業時間】11:30～21:00
【定休日】水曜日



⑥本町通りのまちなみ

本町通りの建物は、主に小売商店の町家が立ち並び、かつては芝居小屋（後に映画館、現在は駐車場）や銀行もあり、近代化の歴史の中心であった場所である。



⑦専立寺の太鼓楼

別名高田御坊。太鼓楼は寺内町のシンボリック存在、大門とともにかつての壮大さを現代につたえている。門前に野口雨情の歌碑がある。

【拝観時間】9:00～17:00



⑧市町通りのまちなみ

かつて綿を商う商家を中心にした問屋街であり、間口の広い町家が現在でも数多く残り、点在する太神宮等の祠も含め歴史的景観を色濃く残している。



⑨不動院（大日堂）

高田證菩提寺、大日堂ともいう。聖徳太子の創建で地域の中心的寺院であったが、現存しているのは大和高田市唯一の重要文化財の指定をうけた本堂だけである。



⑩高田城址碑

横大路の北から、常光寺公園一帯が城跡。当麻氏はこの城を中心に勢力を拡大したが、越智・松永・筒井氏にふりまわされ廃城となる。



● イベント情報 ●

葛城市（長尾神社）

長尾神社のおんだ祭り 3月4日



毎年3月4日、長尾神社において、春を呼ぶお田植祭が行われる。牛に続いて田男、早乙女たちの所作が行われ、神主による解説もある。

大和高田市（片塩・龍王宮周辺地域商店街）

高田おかげ祭り 10月中旬



江戸末期から明治初年にかけて、大群衆となって、伊勢神宮をめざしたおかげ参りに由来するもので、このおかげ参りのにぎわいと楽しさを今に再現して、商店街の活性化をはかり、今も続く「商い文化」を発信しようとしている。

橿原市西エリアマップ

横大路

橿原市西エリア

橿原市



※「愛宕祭」については、橿原東～桜井市エリアのイベント情報をご覧ください。

みどころ

①竹村家長屋門

旧旗本の藤堂氏の代官屋敷長屋門で、櫓で作られた門扉には、入八双金物や円形の釘隠し金物が打たれている。



②曲川の太神宮灯籠

地藏堂の一角にあり、高さ3.18m、周囲に石垣を巡らす。明和3年(1766)の銘があり横大路沿道では最古のものと考えられる。



③豊津橋の道標

嘉永元年(1848)建立、曾我川の右岸(東岸)をたどれば、龍田・法隆寺に行きつくことを示している。また西にも太玉社への道標がある。



④入鹿神社・大日堂

当社は廃普賢寺(はいふけんじ)の東南部の一段高い所に西面して建ち、もとは同寺の鎮守社であったようである。



⑤今井町のまちなみ

全国最大の重要伝統的建造物群保存地区であり、約500軒の伝統的な古民家が残る奇跡の町。江戸時代にタイムスリップできる。



⑥太神宮の灯籠

200m東の接待場跡にあった灯籠を近年移設した。高さ2.28mで、明和8年(1771)の銘がある。本来の方位から45度傾けて設置されている。



⑦国分寺

本尊の十一面観音立像は国の重要文化財。近年焼失した本堂は宝暦12年(1761)のもので明治時代は小学校「培養館」として使われた。



⑧金台寺

蓮如の弟子として名高い了妙尼が開いた寺で、「蓮如上人御一代記聞書」に上人がここを訪れたときのことが書かれている。



⑨福島商店

江戸時代は高取藩の下屋敷で参勤交代の起点となった。露地門の奥には享保10年(1725)の棟札のある御殿部屋が残されている。



⑩谷家住宅

幕末の儒学者谷三山の生家。幼い頃に聴力を失うが勉学に励み、この家で私塾「講義館」を興し、多くの著名な弟子を輩出した。



⑪八木札の辻

古代の横大路と下ツ道の交差地は、江戸時代には高札場となって札の辻とよばれた。当時の様子が「西国名所図会」に描かれている。



⑫西の平田家住宅

近世には「木原屋(きわらや)」という屋号で旅籠を営みにぎわった。外観だけでなく、2階への大階段も当時のまま残っている。



⑬芭蕉の句碑

「笈の小文」にみえる句で、貞享4年(1687)江戸をたち近畿を巡歴したさい八木で作ったとされている。「草臥れて宿かる比や 藤の花」

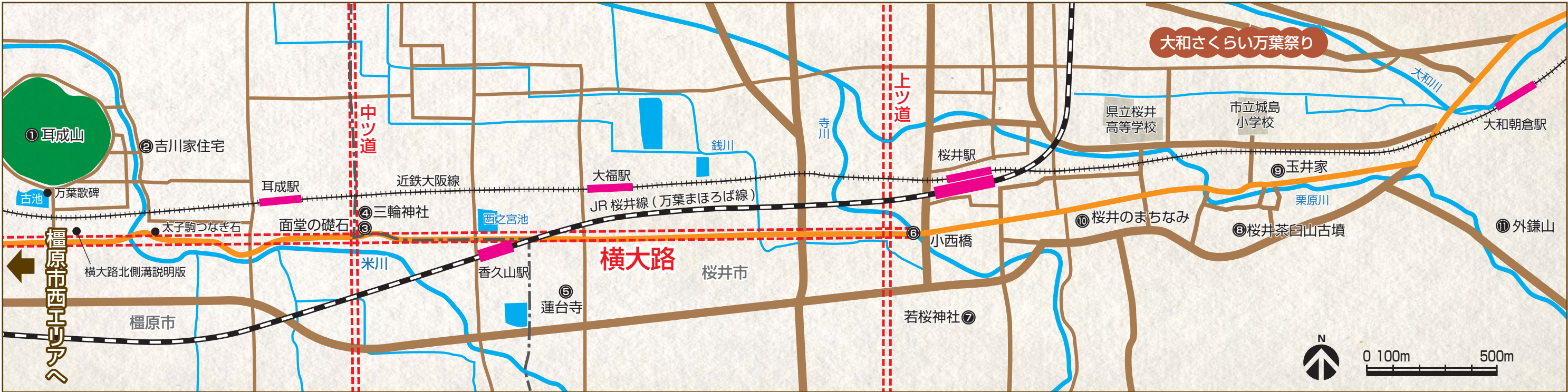


⑭河合家住宅

南隣の河合源七郎家住宅とともに国の登録文化財。天保13年(1842)には「紋り油屋」を営んでいた。安政6年(1859)北八木村の庄屋になり、両替商も兼ねていた。



橿原市東～桜井市エリアマップ



みどころ

①耳成山



大和三山の一つとして知られる山で、畝傍山と香久山とともに国の名勝に指定された。南麓の公園に万葉歌碑がある。「耳無の池し恨めし吾妹子が潜かば水は涸れなむ」

②吉川家住宅

主屋を大和棟とする県指定文化財の住宅。大和の庄屋階級の農家住宅の典型で、建設が元禄 12 年（1703）と明確なことも貴重である。



③面堂の礎石

三輪神社・南西隅の水路の中に大きな礎石が残り、古代寺院（日本書紀の天武天皇元年条にみえる大井寺）の痕跡とみる説もある。



④三輪神社

横大路と中ツ道（江戸時代の橘街道）の交差地に鎮座する。「西国三十三所名所図会」にも描かれている大きな櫻の木がいまもある。



⑤蓮台寺

天平年間（729～48）に創建した霊場という。境内に徳治 2 年（1308）の銘を刻む鎌倉時代の石造五輪塔がある。



⑥小西橋

寺川にかかるこの橋は横大路の長尾からの直線部分の東端で、これより 10° 北に振って初瀬・伊勢に至る。



⑦若桜神社

神社の北にある履中天皇ゆかりの井戸は「櫻の井」とよばれ、桜井の地名の起こりである。



⑧桜井茶臼山古墳

古墳時代前期初頭の巨大な前方後円墳。平成 21 年（2009）の発掘調査で、魏の正始元年（240）の銅鏡が副葬されていたことが判明。



⑨玉井家

邸内に県指定天然記念物の蘇鉄の巨樹がある。また門脇にもと西の辻にあった「左はせいせ道・右大坂 こうや道」と刻む石標がある。



⑩桜井のまちなみ

明治になって吉野・宇陀地方からの木材の集約地として発達した。アーケードに覆われた本町通の周辺には伝統的な商家が点在する。



⑪外鎌山

朝倉富士とも呼ばれる秀麗な円錐形の山（標高 292m）で、頂上が横大路建設の東の基準とされたとも考えられている。



● イベント情報 ●

橿原市（八木町） ※開催場所は、橿原西エリアマップをご覧ください。

愛宕祭 8 月 23 日～ 25 日



八木の愛宕祭では、町内周辺 38 ケ所におのおの愛宕神社祠を祀り、町内あげて立山（造り山）をつくり出来栄を競い合う。

桜井市（金屋河川敷公園）

大和さくら万葉祭り 9 月第 2 土曜日

古代の市場「海柘榴市」の再現や歌垣火送りなど、万葉の地にふさわしい催しが行われる。

